

科目名	健康医療科学研究方法論1			ナンバリング	ZSF241	授業形態	講義
対象学年	1 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	1 単位
代表教員	Goh Ah-Cheng	担当教員					

授業の概要	理学・作業療法に求められる、科学的な根拠(エビデンス)を積み重ねて治療効果を実証する研究の方法論について学修する。この授業では、研究とは何か、研究の必要性、健康医療科学に必要な文献検索の方法について学び、科学論文の講読を通して、研究に対する知的興味、目的意識、動機を研ぎ澄ませ、かつ絞っていく過程を学修する。また、統計解析の基本と健康医療科学で良く用いられる各種統計方法について学ぶ。						
到達目標	研究や研究論文の意義が理解できる。 目的とする研究論文を探すことができる。 論文の基本的な読み方を理解できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	エビデンスや先行研究を検索するには、インターネットを使用することが重要です。そのため、wifi機能のあるノートパソコンを持参してください。ノートパソコンがない場合、スマートフォンやタブレットを持参してください。						
ディプロマポリシーとの関連	【健康医療科学部理学療法学科のディプロマポリシー】						
	○	1	広い視野と豊かな教養に基づき、健康の維持・増進およびリハビリテーション専門職の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。				
		2	地域に住む人々の健康・医療課題を的確に把握し、疾病や障害を予防することや、疾病や障害から生ずる身体機能および能力の回復・改善を促すことを通して、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。				
	○	3	健康・医療に関わる課題を解決するために、理学療法の専門的な過程を用いて根拠に基づいた科学的思考が展開でき、優れた理学療法技術を駆使して日常生活活動に関わる基本動作や身体能力の維持・改善に対する支援ができる。				
		4	健康・医療に関わる理学療法の専門家として科学と健康・医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的且つ能動的な学修ができる。				

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
やや不十分だが最低限の研究法の理解に基づいたプレゼンテーションができる 基本的な研究法の理解に基づいたプレゼンテーションができる	先行研究をある程度参照したプレゼンテーションができる 先行研究を十分に参照するとともに、独自の創意工夫を組み込んだプレゼンテーションがで きる

成績評価観点	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
評価方法							
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加		●	●	●	●		50%
グループ発表	●	●	●	●	●		50%

課題、評価のフィードバック	manabaを使用して、フィードバックを行う。
---------------	-------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	理学療法を学ぶ学生に研究を教えることは必要か?	理学療法の定義と歴史	
	第2回	理学療法の科学的根拠に基づくは何か	エビデンスのタイプ	
	第3回	科学研究とは何か、情報検索の方法	オンライン・データベース インターネットで見つけた情報源	
	第4回	検索した論文・学術論文の読み方	何がよい研究か悪い研究か理解する能力がなければならない	
	第5回	グループワーク1	課題検討	
	第6回	グループワーク2	課題検討	
	第7回	グループワーク3	課題検討	
	第8回	グループワーク1	発表	
	試験	定期試験は実施しない		
授業の進め方		講義、グループワーク(プレゼンテーション、レポート)		
授業外学習の指示		毎回、授業の終わりに、次回までに調べてくるべき内容について説明を行うので調べてくること (授業外学習時間: 毎週 220 分)		

教科書	特になし(授業のレジュメ)
参考書	特になし
参考URLなど	特になし
その他	特になし